

学校法人 専修大学 09年度事業計画・予算

2009年度学校法人専修大学の事業計画は、08年12月17日開催の理事会・評議員会で承認され、それに基づき編成された予算は、3月25日開催の理事会・評議員会で承認された。

事業計画の策定にあたり

創立130年

新たな飛躍の節目に

専修大学は、本年9月に創立130年を迎えます。この記念すべき年に取り組みたい「事業計画」は、専修大学がこれまで歩んできた歴史と伝統の顕彰と、大学の広範な発信を目的とした記念事業を計画の中核に掲げるとともに、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発を達成するために、学生を基本に据えた大学づくり」を基本理念とした教育研究の強化及び社会との密接な連携構築を重視しています。

専修大学は、10月30日に挙げる創立130年記念式典をはじめ、知の発信を積極展開する記念行事を予定しています。これらの記念行事を通じて、学生が本学で学ぶ喜びと誇りを再認識し、さらに、本学特有の存在意義や研究力が社会に示され、社会と本学の有機的なつながりが、より一層強まることを期待しています。また、4月から本格稼働した小田急線向ヶ丘遊園駅前の「専修大学サテライトキャンパス」は、大学が果たすべき使命のひとつである「社会貢献」の拠点として、公開講座、社

会人教育、教育研究成果の公開などの取り組みが予定されています。加えて、2010年度に開設を予定している学部・新学科の設置準備をはじめ、高等学校との教育連携、社会とのネットワークづくり、さらには、教育研究環境の充実に向けた神田及び生田キャンパスに係る総合的なキャンパス構想の検討を進めていきます。

石巻専修大学は、学生の能力向上のために、教育の質を高めるという「教育第一主義」を最優先に掲げ、経営学部における国際経営・観光コースの新設、経営学部・大学院の「5年一貫教育プログラム」の導入、入学前から1年次生を総合的に支援する「フレッシュマンセミナー」の開講などに引き続き、09年度は、理工学部全学科でのコース制を導入します。

専修大学北海道短期大学は、徹底した少人数による個性重視の教育を更に強化するため、09年度は、みどりの総合科学科を3つの系に、商経社会総合科学科を5つの系に改編します。ここに挙げた三大学の取

主な事業計画

I 創立130年記念事業の推進

学校法人専修大学は、設置する三大学が07年から09年までの間に、創立に係る節目の年を迎えることから、「創立130年記念事業」の資金活動を行うとともに、それぞれの大学において、新校舎建設をはじめとする施設整備や学術講演会に代表される知の発信など、様々な創立記念事業を企画し、実施してきます。

09年度は、専修大学が9月16日に創立130年を迎えることから、以下の記念行事を実施する。

1. 記念式典・祝賀会
大学記念日である09年10月30日に、創立130年を記念する式典及び祝賀会を実施する。
2. 創立130年宣言
学生と共に創立130年を祝い、本学に学ぶ喜びを体感してもらうことを目的とした創立130年宣言のセレモニーを実施する。
3. 記念講演会
一般及び卒業生並びに在学生等を対象とした記念講演会を実施する。

一般及び卒業生を主対象とする記念講演会は、専修大学の研究成果の発信に重

今日の社会は、グローバル化の拡大、少子高齢化の進行、資源・環境問題の深刻化など多くの諸課題を抱えており、また、大学においても教育研究の本質、あり方、今後モビリティ達成を求められています。まさに今日は、大学創立期を強く意識させる変革と再構築の時代といえます。このような激動期であるからこそ、本学は、130年に亘り各界で活躍する有為な人材を輩出し、社会の負託に応えてきた「大学力」を社会に示し、創立130年という記念すべき年を、新たな飛躍に踏み出す節目としていく所存です。

II 教育・研究力の強化

1. 組織に関すること

- (1) 新学部・新学科の設置準備
文学部心理学科及び人文社会科学専攻を改組し新学部(人間科学部)を設置する。さらに、日本語日本文学科・人文科学(社会学専攻を除く)の各専攻を学科に改組し、併せて新学科(人文・ジャーナリズム学)を設置する。
- (2) ネットワーク情報部
09年度入学者よりカリキュラム変更し、プログラム

5. 研究に関すること

- (1) 研究プロジェクトの推進
専修大学は、全ての学科がコース制を設けることな
- (2) 図書館データの推進
図書館は、研究を支援するため、図書資料のデータベース化を推進する。09年度は、ベルンシュタイン文庫「手稿史料」のデータベース化を完了させる。
- (3) 国際交流に関すること
6. 国際交流に関すること
(1) 中期留学プログラム
(2) フランス語プログラムの開設
(3) 中国語プログラムの開設
(4) フランス語プログラムの開設

III 学生支援の充実

【専修大学】

1. 経済的支援に関すること
専修大学育友会の寄付により、新たに経済的支援を目的とした奨学金制度を創設する。
2. 進路支援に関すること
会計士講座カリキュラムの改革
3. カレッジスポーツに関すること
体育会学生の競技力向上支援

【石巻専修大学】

1. 経済的支援に関すること
(1) 奨学金制度の見直し
向学意欲がありながら、経済的理由により、就学が困難な域内の高校生を支援する奨学金制度を創設する。
2. 進路支援に関すること
専修大学北海道短期大学は、省電力・低発熱型機器の導入などにより、環境負荷の低減に寄与し、グリーンITを推進する。
3. Web講義要項(シラバス)システムの機能強化
(4) 図書館新電子計算機システムの導入
(5) 国際研修館建て替えの検討

【専修大学】

1. 教育職員免許状に関すること
更新講習会の実施
2. 社会人教育に関すること
KSコミュニティ・ビジネス・アカデミーの実施
08年度文部科学省「社会人の学び直し」ニーズ対応教育推進プログラム」に採択された「KS(川崎・専修)

【石巻専修大学】

1. 産学連携に関すること
石巻信用金庫との連携や石巻産学交流会・自動車関連産業集積部会の活動を通して発足させた複数の戦略的プロジェクトを、引き続き推進し、地域貢献を図る。
2. 高大連携に関すること
単位認定を行う高大接続研究会を推進するとともに、宮城県内の高校を中心に発展的な高大連携事業(高大接続研究事業とオーブンキャンパス)の中間的な取り組みを展開させる。
3. 公開講座等に関すること
(1) 駒井重格展の開催
専修大学は、創立者の一人である駒井重格について、出身地である三重県桑名市において展示、講演会を開催し、駒井の業績を通じて、本学の軌跡を広く社会に発信する。なお、駒井重格展は、一橋大学(駒井は、前身である高等商業学校において校長を務めた)及び桑名市博物館と共催で行うことにより、社会的関心の幅を広げたものとする。
4. 施設開放に関すること
中・高校生を対象としたオープンライブラリーや一般市民対象の施設開放を更に拡充する。
5. フォメーション、大学の教育研究成果の発表等、知的発信を基軸とした地域貢献

IV 社会への貢献活動の充実

【専修大学】

1. 防炎に関すること
2. 学生募集に関すること
3. 学生募集に関すること
4. 学生募集に関すること

【石巻専修大学】

1. 防炎に関すること
2. 学生募集に関すること
3. 学生募集に関すること
4. 学生募集に関すること

V 経営基盤の強化

【学校法人】

1. 外部資金の確保に関すること
私立大学等経常費補助金(特別補助)の申請を促進するため、対象となり得る取り組みの洗い出しを徹底し、検討する。
2. 募金活動に関すること
創立130年記念事業資金推進委員会の募金計画に基づき、05年4月から開始した募金活動を積極的に推進する。

【学校法人】

1. 外部資金の確保に関すること
私立大学等経常費補助金(特別補助)の申請を促進するため、対象となり得る取り組みの洗い出しを徹底し、検討する。
2. 募金活動に関すること
創立130年記念事業資金推進委員会の募金計画に基づき、05年4月から開始した募金活動を積極的に推進する。